お肌の話 Vol.65

ほおのシミが気になります

老人性色素斑はレーザーで治療します

中野皮膚科クリニック

http://www.nakano-derma.com/

年齢とともに頬や胸元、手の甲などの皮膚に茶褐色のシミができやすくなります。老人性色素斑と呼ばれるシミの治療について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。

―老人性色素斑とはどんな症状ですが？

「加齢とともに頬のあたりにできる褐色のシミです。原因は長時間、紫外線を浴びてメラニン色素が過剰に産生されること。日光のあたりやすい、頬や手の甲などに多く見られます」

―治療法はありますか？

「老人性色素斑そのものは健康に害を与えることはありませんが、美容面から気になる人はレーザー照射（自由診療）で治療します。

シミは老人性色素斑以外にも肝斑や雀卵斑（そばかす）、後天性真皮メラノサイトーシス（ADM）の場合もあるので、治療する前に鑑別することが大切です。肝斑に対してレーザー治療を行うと悪化することもあります」

―治療はどのように？

「シミ部分を特定し、レーザーを照射します（自由診療・1㎜300円）。その後、かさぶたができてはがれ落ちます。このとき、手ではがさないように注意してください。照射後は色素沈着が起こり、一時的に色が濃くなることもあります。色素沈着が気になる場合はハイドロキノン外用薬（自由診療・200円）を処方することもあります。まずは皮膚科の医師に相談を」

頬やこめかみのあたりに茶色いシミが増える「老人性色素斑」

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ～ 13:00	○	○	○	○	○	12:00まで受付
15:00 ～ 18:30	○	○	○	○	○	―

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬　日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

問い合わせ
中野皮膚科クリニック
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分
☎03-5342-0722

2020年1月31日付　「リビング東京副都心 」に掲載されました